

- ・日時：令和2年4月3日（金）16：00～
- ・場所：県庁本館ドーム会議室

○県副本部長（八矢副知事）

ただいまから、愛媛県・松山市合同新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。初めに、県本部長である知事から挨拶をお願いします。

○県本部長（知事）

この1か月少しの間、コロナの対処で、皆さん大変多忙な日々をおくっていると思います。我々の使命は県民・市民の命を守る、これは行政の第一義的な使命だと思えます。今日残念ながら一人お亡くなりになりましたけれども、これ以上の仕事はないという緊張感も持って、対応をしていきたいと思えます。

県では、全県的な対処が必要なんですけど、都度都度、最新の情報に基づいて、できるだけスピーディーに先取りして対策を打つ、この点を意識しながら動いてきたつもりですけど、当初、保健所の関係者の皆さんには大変無理を言いまして、初期段階の対応が重要である、県民・市民の信頼が得られるかどうかというのは、後々の対応に直結するという事で、当日中にできるだけのことをするという基本的な方針で臨みました。義務ではない検体の採取、深夜帯にも及ぶ消毒、あるいは入院の手続き、そしてできる限りの行動履歴の把握。これは、松山市でも初症例が出たときに、県方式でやってほしいということで、しっかりと対応していただきました。

ただし、これだけ増えてきますと人員の限りがあるということと、職員の体調面の配慮が必要になるということで、最終の遅い時間の陽性判定については、最低限のことをやって、行動把握等については、翌日以降に対応するというのを、公式に方針として発表させていただきました。そういったところで、最前線の関係者の体調管理にも十分配慮をしていただきたいと思います。

今回、特に高齢者施設での感染で対象範囲が広いということ、これまでは、だいたい抑えきったというふうに思いますが、この場合だけはまだ見通しが立たないということで、これは規模が大きいということも踏まえて、県と市合同で対応するというふうな方針でやっていきますので、協力体制の下、最初の事例の時に確立できていると思えます。危機感をさらに高めて、万全の体制で臨みたいと思えますので、よろしくお願いします。以上です。

○県副本部長（八矢副知事）

では、市の本部長である松山市長から挨拶をお願いします。

○松山市本部長（松山市長）

まず、愛媛県さんとうやうやって連携しながら対応できることを本当にありがたく思っています。皆さんご存知のように、松山市で集団感染の事例、高齢者施設が関わる事例が発生をいたしました。先程、知事のご挨拶にもありましたけれども、人員の補充・補強というものの非常に大事だと思います。スピード感を持って、また危機感を持って愛媛県さんと連動しながら、しっかりと封じ込めに当たっていきたいと思いますので、引き続きのお力添えのほどをお願いいたします。

○県副本部長（八矢副知事）

ありがとうございました。本日の会議は個人情報を取り扱うため、報道各社に皆様におかれましては、ここで御退出をお願いします。なお、本日の会議の概要につきましては、後ほど番町クラブの方で、説明をさせていただきます。それでは、恐縮ですが御退出をお願いします。